

10月20日 ゲスト卓話



国際ロータリー第 2770 地区
米山記念奨学部門増進委員会
委員長 金杉豊 様(八潮ロータリークラブ)

本日は卓話にお招きいただきありがとうございます。申し遅れましたが、八潮 RC より出向しております。米山記念奨学部門 3 年目の金杉豊と申します。今年度は増進委員会の委員長として活動させて頂いております。

本年度米山記念奨学部門では、大塚信郎パストガバナー(上尾 RC)を担当諮問に迎え、栗原偉憲部門委員長(杉戸 RC)を筆頭に金杉豊委員長(八潮 RC)を中心とした増進委員会 7 名、工藤篤志委員長(川口モーニング RC)を中心とした選考委員会 5 名、この 2 つの委員会を組織し、計 14 名で一年間活動を行っております。約 1 ヶ月に 1 回委員会および奉仕活動を行っております。

当部門の目的は、一つとして寄付の増進を図ることです。なぜ寄付の増進をしなくてはならないのか? 2770 地区現在 73 クラブです。しかし学生受入れ希望クラブは 53 クラブあります。本年度は新規学生 26 名で継続合わせて 31 名ですから、希望クラブの 5 割強しか受入れできない状況を少しでも向上していきたい。よって米山月間というのは日本独自のものです。10 月のみだったのですが、昨年度より 3 月も米山月間にさせていただき、更なる増進を図るための活動をしていく予定です。

一昨年、故濱野パストガバナーが個人平均寄付額目標 25,000 円の設定し一昨年度は 25,548 円になり、昨年度は 26,870 円となり、大貫年度は 34 名を見込んでいます(※)。 ※次年度全国 780 名

八潮みらい RC の皆様には毎年米山記念奨学事業に対しご寄付を頂き、感謝申し上げます。因みに過去 3 年間の貴クラブの寄付状況は、次の通りです。

※地区目標 25,000 円

2016 年 6 月 30 日締(25 名) 総額 230,000 円 個人平均 9,200 円
目標達成率 36.8%

2015 年 6 月 30 日締(23 名) 総額 267,500 円 個人平均 11,630 円
目標達成率 46.52%

※地区目標 20,000 円

2014 年 6 月 30 日締(26 名) 総額 325,000 円 個人平均 12,500 円
目標達成率 62.50%

米山奨学事業の意義

1999 年より米山奨学生の対象を「救貧型」から「知的貢献型」へと転換し人物の優秀性を重視しています。将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成すること。これは、ロータリーの目指す『平和と国際理解の推進』そのものです。

■米山の寄付金

普通寄付… 日本のロータリアンからクラブを通じて定期的にする寄付。各クラブで決定した金額×会員数分を半期ごとに分けて送金しています。

当地区では、現在年間、一人 5000 円と決まっています。

特別寄付… 個人、法人、クラブから普通寄付以外に任意で行う寄付。金額には決まりはありません。ロータリアン以外でも OK です。

※現在は普通寄付も、特別寄付と同様に税制優遇が受けられるようになりました。

2770 地区の寄付実績と受入れ奨学生の人数

※各地区の採用奨学生の人数は、3年前の各地区の寄付実績に応じて割り当てられます。

2008～09年度	6,570万円	
2009～10年度	5,750万円	
2010～11年度	5,606万円	奨学生 37名
2011～12年度	5,546万円	奨学生 36名
2012～13年度	5,993万円	奨学生 33名
2013～14年度	6,013万円	奨学生 30名
2014～15年度	6,703万円	奨学生 28名
2015～16年度	6,953万円	奨学生 31名
2016～17年度		奨学生 31名
2017～18年度		奨学生 34名